

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】【思考力】【自己理解】

単元名

海田町に息づく「世界人『織田幹雄』」を紹介しよう

教材文「手塚治虫」

【単元の概要】

日本人初の金メダリスト「織田幹雄」は、海田町出身で、その功績は今も町に息づいています。児童は、国語の学習を通して、織田幹雄について書かれた複数の資料を読み、織田幹雄の生き方や考え方について学びます。その中で、織田幹雄の陸上競技の発展に寄与した競技者としての生き方だけでなく、人種や国籍を問わない「世界人」としての生き方に触れ、自分たちのものの見方や考え方を深めていきます。多くの人に織田幹雄の生き方や考え方を紹介することを目的に、構成を考え工夫してリーフレットを作成し、町内の公共施設等に配布します。

学習指導要領における領域・内容

B書くこと イ

C読むこと オ カ

他教科等との関連

道徳の時間

◆単元の目標

主体的に本や複数の資料を選んで比べて読み、織田幹雄の生き方や考え方について考え、友達との交流を通して自分の考えを広げたり深めたりする。また、織田幹雄を多くの人に紹介するリーフレットを作成することで、読み手の関心を喚起させ、織田幹雄の生き方や考え方を効果的に伝えるための見出しや全体の構成の効果について考える。

◆単元の展開（全16時間）

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
課題の設定（2）		
海田町出身の「織田幹雄」について知っていることを出し合う。	<p>○道徳でも学習したね。海田町出身日本人初の金メダリストだよ。</p> <p>○学校の掲揚台の高さは、三段跳の記録だね。その他は知っているようで知らないな…</p> <p>「織田幹雄について知っているようで意外に知らないことに気が始める。」</p>	<p>【道徳の時間】事前に自作資料「強いものは美しい—日本人初の金メダリスト 織田幹雄—」【価値項目1—（2）】の学習を行い、織田幹雄の思いに共感させておく。</p> <p>■（事前の取組）昨年度の学習の成果物を展示している「ふるさと館」を見学し、本単元における学習に興味をもたせておく。</p> <p>■昨年度の成果物に対する来館者のアンケート結果を紹介する。</p> <p>■昨年度の展示パネルとそれ以外の方法であるリーフレット等の長所と短所を考えさせ、展示パネルの短所を補うことができる方法を選ばせる。</p>
昨年度の展示パネルを見た人のアンケート結果を知る。その中で、「織田幹雄の生き方とか考え方についてよく知ることができた」人が全員ではないという事実を知る。	<p>○多くの人が、展示パネルを見て、織田幹雄について知ることができていた！さすが、6年生だ。</p> <p>○ちょっと待って、あんなに詳しく紹介文を書いているのに、全員が「よく知ることができた」と回答してくれていないのはなぜだろう。</p> <p>「昨年度の学習では、大きな成果があった一方で課題もあることに気が始める。」</p>	
「先輩たちの学習を引き継ぎ、『織田幹雄』をさらに多くの人に紹介する」という課題を設定する。	<p>○「ふるさと館」で展示するという方法では、限られた人にしか知らせることができないね。読む時間も限られてしまうし…</p> <p>○僕たちは、先輩とは違う方法で織田幹雄を紹介したいね。</p> <p>○何度も読み返すことができ、多くの人に配布できるリーフレットがいいね。</p>	
先輩の学習を引き継ぎ、海田町出身の織田幹雄について紹介しよう。		
	<p>「先輩達の学習を引き継ぎながら、織田幹雄の生き方や考え方を紹介したいという気持ちが高まってくる。」</p> <p>○陸上選手として活躍するために、どんな練習をしたのだろう。まずは、実績だけでなく、練習の仕方についても資料から調べて伝えたいね。</p> <p>○リーフレットの中に年表も入れたいね。年表を入れたいけど、どうやって年表を作ったらいいのだろう。</p> <p>○リーフレットの構成や見出しも考えたいね。</p> <p>「複数の資料を読み、織田幹雄の生き方や考え方について考えたいという意欲が高まってくる。」</p>	<p>■教材文を基に、人物を紹介するために必要な観点は、人物のあゆみ、生き方に大きく影響を与えた出来事、効果的な表現方法であることを説明する。</p> <p>■単元で付けたい力である「学びのモニタリング」の視点を考えさせ、ゴールの見通しをもたせる。</p>
課題の解決に向けた方策について話し合い、人物を紹介するために必要な観点や学習計画について考え、学習の見通しを立てる。		

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
情報の収集 (3)		
<p>共通教材として教材文「手塚治虫」を活用し、文章を読んで、年表を作成する方法について考える。</p>	<p>○人との出会いや戦争などの出来事も人物の生き方に大きく影響を与えているので年表に入れるといいね。 ○年表にするには、資料に書かれていることを短い言葉でまとめる必要があるね。 ○この方法で、織田幹雄の年表も作ることができそうだ。</p>	<p>■短冊に「時」と「出来事」を記入させる。そして、短冊を並び替えながら、グループで年表を完成させる。 ■完成した年表を、いくつかの時期に分けさせ、その時期をどのような言葉で表すことができるか考えさせる。</p>
<p>織田幹雄に関する複数の資料を読み、必要な情報を取捨選択し、あゆみを年表にまとめる。</p>	<p>教材文で付けた読みの力を、織田幹雄についての読みに活用して、課題解決しようとする意識が高まっている。</p> <p>○多くの大会に出場して記録を出しているね。大会名と種目、記録を年表に入れよう。 ○指導者として、世界の人たちにどんな影響を与えたのかな。 ○織田幹雄の「世界人」とは、どんな人をさすんだろう。もっと資料を読んで、織田幹雄の考え方を知りたいな。</p> <p>人との出会い等との出来事と関連付けながら、織田幹雄の生き方や考え方を捉え始めている。</p>	<p>■年表を基に、それぞれの出来事を関連付けながら、織田幹雄の生き方をいくつかの時代に分けさせる。 ■織田幹雄の生き方や考え方を共有しながら考えさせるために、児童全員で作成した年表を教室に掲示する。 ■選手引退後の情報が不足していることに気付かせ、並行読書などで得た指導者としての情報などは、随時年表に追記していく。</p>
整理・分析 (5)		
<p>共通教材である教材文「手塚治虫」を基に、人物の生き方や考え方をまとめる際に、どのような点に着目して読めばよいか知る。</p>	<p>○人との出会いとその結果とを関係付けて読むと、人物の生き方について深く考えることができるね。 ○困難な出来事や挫折をどのように乗り越えるかに着目して読むと、より人物の考え方が分かるね。</p>	<p>■出来事や人との出会い、人物が大切にしてきたことを関連付けながら、人物の生き方や考え方について考えればよいことに気付かせる。</p>
<p>共通教材である教材文「手塚治虫」を通して学んだことや年表、複数の織田幹雄の資料を基にして、織田幹雄の生き方や考え方について考える。</p>	<p>出来事を関連付けながら、人物の生き方や考え方を多面的に捉えることが大切であることに気が始めている。</p> <p>○「精進」の言葉は、指導する人がいない中、少ない道具で練習を工夫し努力し続けてきた織田幹雄の生き方を表しているね。 ○多くの人との出会いが陸上への道につながったから、人との出会いを大切にしていた人だろうね。 ○心の強さ、精神力の強さ、何事にも挑戦し続けるという意味が「強いものは美しい」に込められているね。私はどうだろう…</p>	<p>■年表に挙げられている事実を伝えるだけでは不十分であることに気付かせ、目的意識を明確にさせる。 ■思考ツールの「お魚ボーン図」に、「陸上との関わり」「人との出会い」「困難や挫折」の視点で出来事を記入し、それらの出来事を関連付けながら生き方や考え方を考えさせる。</p>
<p>織田幹雄の生き方や考え方について、紹介文を書く。(下書き)</p>	<p>織田幹雄の生き方や考え方を自分の経験と関連付けながら、多面的に考え始めている。</p> <p>○観察眼を生かして、多くの人々に指導し、記録を伸ばした出来事を入れよう。 ○国という枠組を超えた「世界人」としての生き方を、エピソードを交え知ってほしいな。 ○読んでもらう人に興味をもってもらうためには、見出しも工夫した方がいいね。</p> <p>織田幹雄の生き方や考え方に対する考えがまとまり、広がりや深まりが生まれてきている。</p>	<p>■「構成表」を使い、紹介したい事柄を整理した後に、紹介文の下書きを行うようにさせる。 ■読み手の関心を喚起させるためには、見出しや書き出しの工夫が必要であることにも気付かせる。</p>
まとめ・創造・表現 (4)		
<p>織田幹雄の研究者からの手紙を基に、リーフレットに書く紹介文を見直す。</p>	<p>○今の紹介文だと多くの事実だけが書かれていて、生き方や考え方で伝えたいことが分りにくいよ。心の動きも伝える表現を工夫しながら文章を書くといいね。 ○織田幹雄の生き方だけでなく、自分を振り返ってどのようなことを学んだかを伝えることが大切だね。 ○多くの努力では、どんな努力をしたのか伝わらないね。具体的に例を挙げて、努力の結果まで紹介しないとダメだね。</p>	<p>■事前に児童の紹介文の下書きを織田幹雄の研究者に読んでいただき、よりよい紹介文にするための評価を受ける。研究者と連携し、評価の内容を指導者が手紙にしたものを児童に伝える。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
再度資料を読み直し、必要な情報を収集し、紹介文の文章を加筆修正する。	<ul style="list-style-type: none"> ○「世界人」だけでなく、「人間的な弱さ」も紹介すると、織田幹雄のさらなる魅力が伝わると思う。もう一度その視点で資料を読んでみよう。 ○心の動きが分かるような表現を入れるための表現を加えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ■手紙の内容にある「事実を正確に書いているか」、「生き方や考え方を多面的に伝えているか」という評価の視点に基づいて推敲させる。
見出しや紙面の構成を考えながら、紹介リーフレットを仕上げる。	<p>「多面的に織田幹雄の生き方や考え方を捉え、自分との関わりの中で考えている。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでのリーフレットづくりでの割り付けの仕方等の学習が活かせるね。 ○3回オリンピックに出場したことが分かるように、年表にも色を付けて工夫しよう。 ○織田幹雄の生き方が詰まった「努力の結晶」という見出しにすると、読む人が興味をもってくれるかな。 ○当時の練習の様子が分かる写真を表紙に使うと、今の様子と違うことも分かるね。 <p>「相手意識を明確にして、織田幹雄の紹介リーフレットを仕上げ、実行への意欲を高める。」</p>	<p>【国語】「リーフレットで報告しよう、ぼくたち・わたしたちの『凧子大作戦！』」の学習を想起させ、リーフレットの割り付けを工夫したりキャッチフレーズを付けたりして特徴を表し、全員の言語活動を充実させる。</p>
実行（※授業時数に含めない）		
各自が作成したリーフレットを町内の公共施設やイベント等で配布する。	<ul style="list-style-type: none"> ○リーフレットを作るのに苦労したけど、織田幹雄について多くの人に知ってもらえてよかったな。 ○公共施設の人たちも、海田町出身の織田幹雄のリーフレットを配布できることを、とても喜んでくれていたな。 <p>「実行したことへの達成感もちながら、本単元の学びを振り返り始めている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■公共施設の設置を事前に連携し、児童に対し感想や評価などをいただくようお願いしておく。
振り返り（2）		
完成したリーフレットの交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○織田幹雄は、歌舞伎や推理小説も跳躍へ結び付けるほど陸上に対して熱い思いがある人だったね。 ○友達の作品を読むと、自分とは違う織田幹雄の生き方や考え方が発見できるよ。 ○紹介する出来事が同じでも、織田幹雄から学んだことはそれぞれ違っているね。 <p>「学んだことを紹介する楽しさや喜びに気付きながら、織田幹雄に対する見方を深めている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■作品を読み合い、友達の作品の工夫を見付け、作品の評価を付箋に記入させる。
自らの学びを振り返る「学びのモニタリング」を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの資料を読んだり考えたりすることは簡単なことではなかったけど、みんなで何度も考えたことはとても楽しかったね。 ○織田幹雄のように、自分を信じて何事にも挑戦していきたいな。 ○「海田町に息づく」とは、海田町に住んでいるぼく達が学習をして、自分の生き方に取り入れていくことなんだね。 ○これからも、色々な方法で織田幹雄のことを紹介していきたいな。 <p>「自らの学びや学び方を振り返りながら、伝える価値や楽しさに気付き、より深く自己を見つめようとしている。」</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ■作品、公共施設の方や友達からの評価、ノートなどを基に本単元の学習を振り返らせる。 ■課題の設定の時に立てた「学びのモニタリング」の視点で、育成したい資質・能力である【主体性】【思考力】【自己理解】や教科の力について自己評価を行わせる。また、学び方や成長したことや次への目標などについても振り返らせる。

【児童生徒の変容】

児童は、多くの人に海田町出身の織田幹雄の偉大さを知ってもらいたいという願いをもち、複数の資料を読んでいく中で織田幹雄に対する思いを深めた。当初は、織田幹雄の生き方を陸上競技の勝者という一面からしか捉えていなかったが、人との出会いや挫折などの出来事と関連付け、織田幹雄の生き方や考え方を多面的に捉えた。リーフレットにまとめる中で、読み手を意識して見出しを工夫したり全体の構成の効果を考えたりして書くといった教科で付けたい力が高まったと捉えている。育成したい資質・能力については、「織田幹雄は、多くの人に出会うことで陸上の世界に導かれました。人との出会いはお互いの人生に影響をあたえることが分かりました。わたしも人との出会いを大切に成長していきたいです。そして、わたしに出会ってよかったと思ってもらえるような人になりたいです。」という振り返りに代表されるように、織田幹雄の生き方を多面的に捉え自分の経験を重ねて考えることで、より深く自己を見つめ、自己理解の力を高めることができた。